

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	所沢市表彰	所管	総合政策部 秘書広報課(秘書担当)
			TEL 2998-9022

事業の目的 (何の為に 行うか)	政治、経済、福祉、教育、文化、スポーツ等、様々な分野で市勢の振興に寄与する市民活動を促進するために、活動の顕著であった方々を表彰し、市勢振興への貢献に対し感謝の意を表する。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象として いるか)	市勢の振興に貢献した個人、市民の規範となる活動をした個人・団体	対象とした数	95	人
		実際に 利用した数	95	人

活動の内容	(何を したか)	1 各部から被表彰候補者を推薦する。 2 被表彰候補者選考委員会を経て被表彰者を決定する。 3 市制施行記念日に表彰状・記念品を贈呈し、被表彰者の事績を称える。 4 広報とところざわにより、被表彰者を公表する。							
活動実績	項目名	被表彰者数(年間)	95	項目名	被表彰者1人あたりの経費	項目名	項目名	項目名	項目名
		-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
		単位	人	単位	人	単位	人	単位	人

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	948	1,431	3,686	10.9

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	延べ被表彰者数	事業開始以降の被表彰者数の累計	-----	1480	-----
			単位	単位	単位
			人	人	%

今後の 方向性 (所管の 意見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ]	-----	終了 ⇒ 事業完了 終了 休止	-----	-----
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無	有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了	-----	-----	-----
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ] 終了			
	予算	現状どおり 増額 減額 終了			

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当部課	部課コード	010600	区	2998-9022
事業コード	所沢市表彰	総合政策部 秘書広報課(秘書担当)				
010601		担部課	グループ 秘書担当			
開始年度 昭和 45 年度 → 終了年度 平成 年度						

事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
分野別計画・指針	所沢市表彰規則			
関連・類似事業				
総合計画の体系	政策	第8章 計画の推進に向けて	施策	1節 市民との協働
			中柱	小柱
H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 12 位		実施計画における位置づけ…H19 *** H20 ***		
行政改革大綱における行動計画への位置づけ	コード	コード	コード	
事業開始の背景	昭和45年の市制施行20周年を機に、社会福祉や自治振興など様々な分野で市勢振興にご尽力いただいた活動の顕著な方を表彰し、その功績を称えることとした。以降、毎年表彰を行なっている。			

目的(何のために行うか、具体的に)	政治、経済、福祉、教育、文化、スポーツ等、様々な分野で市勢の振興に寄与する市民活動を促進するために、活動の顕著であった方々を表彰し、市勢振興への貢献に対し感謝の意を表する。			
対象(誰を、何を対象としているのか)	市勢の振興に貢献した個人、市民の規範となる活動をした個人・団体			
利用数の考え方	被表彰者選考委員会の意見を聞き決定された被表彰者の数			
対象数	単位	平成 18 年度	42	人
		平成 19 年度	95	人
事業の具体的な内容及び実施方法	利用数	単位	平成 18 年度	42
			平成 19 年度	95
1 各都府県から被表彰候補者を推薦する。				
2 被表彰候補者選考委員会を経て被表彰者を決定する。				
3 市制施行記念日に表彰状・記念品を贈呈し、被表彰者の事績を称える。				
4 広報とごさざわりにより、被表彰者を公表する。				

平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	最終評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1次評価	<input type="checkbox"/> 2次評価
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )		
	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
平成19年度中に改善した点	事務事業の効率化のため、平成17年度から類似表彰との連携を図り、コミュニティ推進課、商工労働課との合同開催を実施している。昨年度の事務事業評価で課題となっていた各課事務負担の見直しと表彰式の受付をスムーズにするための工夫を行い、改善を図った。また、表彰基準の改正に伴い、被表彰者が増えたが、表彰式の会場レイアウトや式典の進行を工夫し、式典時間の短縮に努めた。		

「会計種別」	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
当初予算		969	948	
決算(見込み含む)		589	1,431	
(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 ) ( 人 )	( 人 ) ( 人 )		
正規職員人件費	0.20 人	1,840	0.24 人	2,255
公債費				※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。
事業費合計		2,429	3,686	
財源内訳	一般財源	2,429	3,686	1,872
	国・県支出金			
	受益者負担金			
	市債			
	その他			
市民一人当たり(単位:円)		7.2	10.9	
利用数一単位あたり(単位:円)		57,833.3	38,795.4	

⑥指	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	被表彰者数(年間)	年間の被表彰者数	人	42	95	120	
	被表彰者1人あたりの経費	事業費合計/被表彰者数	人				
成果分析	延べ被表彰者数	事業開始以降の被表彰者数の累計	人	目標値	実績	1,385	1,490
			%	達成率			実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2

評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大す <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

明らかとなった課題 市表彰取り扱い基準を見直しにより、被表彰者数が19年度から3か年に亘り約2倍となった。合同開催の各表彰式の独立性を尊重し、感謝状や記念品等、必ずしも横並びでない表彰のあり方を検討する。

⑦一次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
平成20年度における目標設定	表彰基準の見直しに伴う懸案事項	懸案事項の解消	今年度中

平成21年度における事業の方向性	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	

評価理由 関係課と連携した合同の表彰式も、これまで3回実施したなかで各表彰のそれぞれの目的を損なうことなく、円滑かつ効率的に進行することができてきた。今後、表彰対象の基準の見直しに伴う懸案事項を解消し、予算、時間等限られた条件のなかで、被表彰者の心に残る表彰式となるようさらに改善を図っていく。

評価日 平成20年5月16日 記者職氏名 秘書広報担当 小笠原 彰

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性	優先度評価
一次評価を受けて	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
次年度用事前評価	評価理由	
	部内優先順位… 位	非常に高い 高い やや低い 低い
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
		市長マニフェスト <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	評価理由	
	評価日	
	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード
	基本目標		
	主要課題		
	施策の方向		